

# 令和6年度「全国学力・学習状況調査」 ～小松島市の結果の概要と今後の対応～

小松島市教育委員会

## 1 はじめに

令和6年4月18日、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。その結果概要について、小松島市の児童・生徒の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の特徴的な傾向と今後の取組について次の通りまとめました。

なお、「全国学力・学習状況調査」は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる目的で実施されています。

※「全国学力・学習状況調査」は、特定の教科の学力や教育活動の一側面について測定したものであります。本市では、本調査結果が学力全体を評価したものと捉えられ、学校間の序列化や過度な競争につながる恐れや、個人が特定される可能性があるため、学校ごとの数値結果（正答率や実数）の公表は行っておりません。

## 2 全国学力・学習状況調査について

(1) 実施日 令和6年4月18日(木)

(2) 調査実施人数

小松島市 小学校 第6学年の児童 218人

小松島市 中学校 第3学年の生徒 229人

(3) 実施内容

①教科に関する調査

小学校 : 国語 算数

中学校 : 国語 数学

②質問紙調査

学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面等に関することを問う

### 3 令和6年度調査の概観

本市の小学校においては、国語・算数ともに平均正答率が全国を若干上回りました。中学校においては、国語の平均正答率は全国・県をともに下回り、数学も平均正答率は全国・県ともに若干下回る結果となりました。

評価の観点から見ると、小学校国語では「知識・技能」、算数では「思考・判断・表現」を要する内容に課題が見られます。中学校国語では「知識・技能」「思考・判断・表現」の両方で、数学では「思考・判断・表現」を要する内容に課題が見られます。また小・中ともに、両教科において記述式問題に対する無回答率の高さにも課題が見られます。

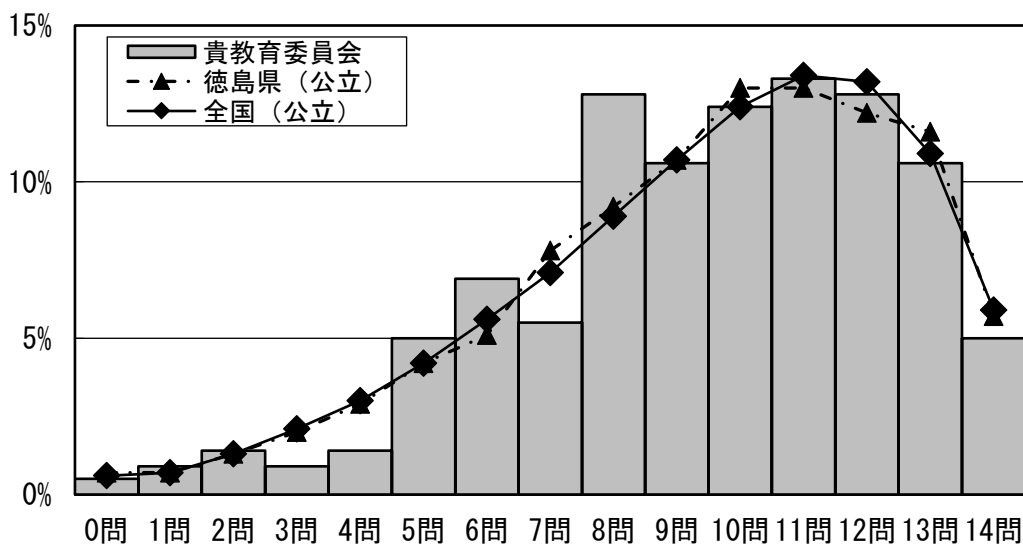
### 4 平均正答率（教科に関する調査） 平均正答率

校種・教科 平均正答率 (%)	小学校		中学校	
	国語	算数	国語	数学
全国	67.7	63.4	58.1	52.5
徳島県	68	65	57	54
小松島市	ほぼ同等	ほぼ同等	やや低い	やや低い

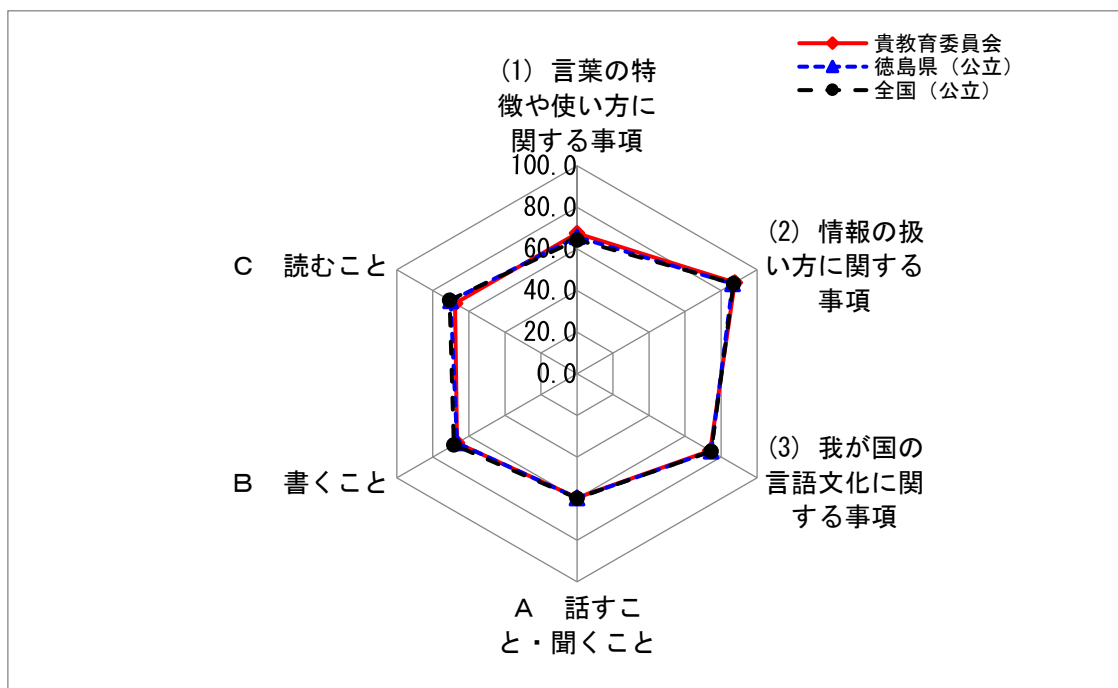
### 5 教科に関する調査結果

#### (1) 小学校 国語

〈正答数分布グラフ〉（横軸は正答数、縦軸は児童生徒の人数の割合）



<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



<課題が見られた問題>

小学校国語

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	平均正答率 (%)		
			小松島市	県	全国
1二(2)	オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる	50.9	55.9	52.9
1三	オンラインで交流する場面において、【和田さんのメモ】がどのように役に立ったのかを説明したものとして、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる	61.5	62.7	63.8
2二	【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く	目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を	50.0	54.6	56.6

		工夫することができるかどうかをみる			
③二(2)	【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する	人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる	67.9	72.0	72.5
③三	【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く	人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる	69.3	72.6	72.6

## 概要

- 学習指導要領の内容では、「知識及び技能」の「我が国の言語文化に関する事項」、  
「思考力、判断力、表現力」においては、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」全てにおいて、正答率が全国・県を1～6%わずかに下回っていました。
- ① 特に約6%下回った問題②の二から、事実を客観的に書くとともに、それらの事実と感想や意見との関係を捉えて書く経験が不足していると考えられます。
- ② 問題①二(2)から、相手や目的を一層意識し、どのような資料を用意すればよいかを考えることが課題であると考えられます。また、実際に話す場面では、聞き手のうなずきや表情などにも注意しながら、聞き手の状況に応じて表現を工夫する練習が必要であると考えられます。
- ③ 問題③二(2)から、登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考え方などを総合して判断する力が不足していると考えられます。
- ④ 問題③三から、本などの中の言葉から自分を支える言葉を見つけたり、今までになかった考えを発見したりすることなどによって、読書の意義を実感できる機会が不足していると考えられます。

## 改善の方向性

① 書く活動の際に、児童の能力を個々に把握し、個別に指導する機会を増やします。事実と考えを区別して書くことが苦手な児童には、主語や文末表現に目を向けるよう促します。また事実と考えのどちらかが不足している児童には、児童同士で交流させ、事実と考えについて確認し合う場面を設定する。

② 「相手の反応を見て」話すことに気を付けるよう子どもたちに働きかけます。  
気を付ける事項としては

- ・ 短い言葉に区切って話す
- ・ 実物を提示しながら話す
- ・ 相手の理解を確かめる
- ・ メモ等を見返して考えを整理する

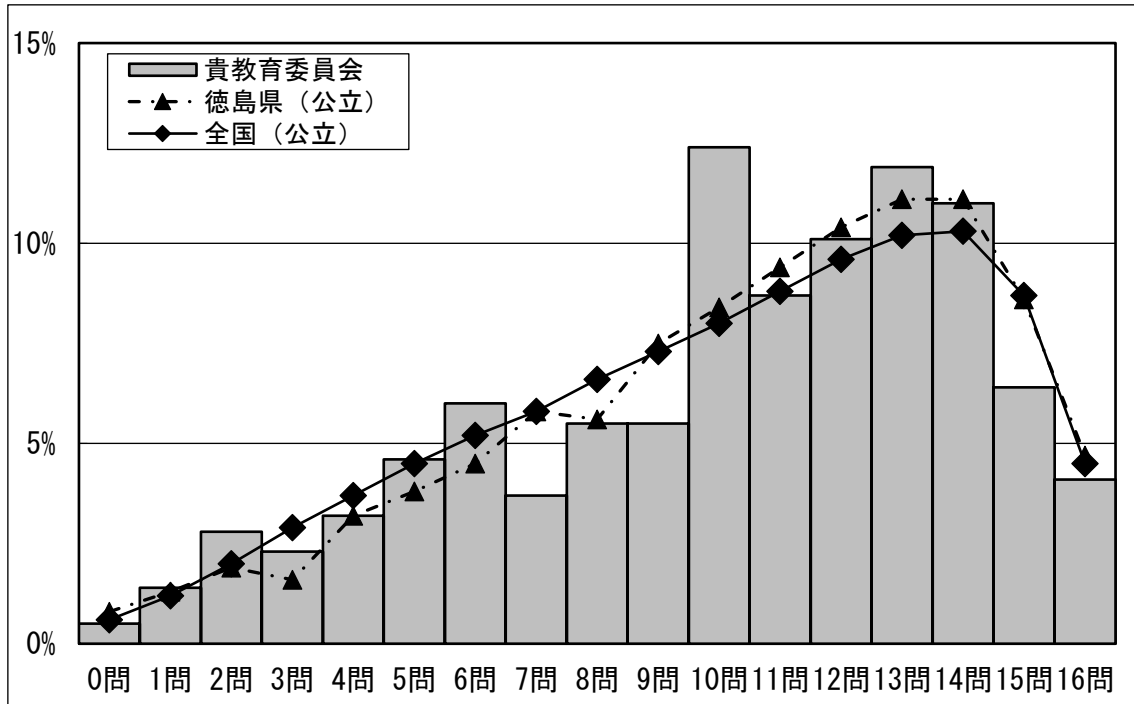
以上のようなことを意識しながら、表現を工夫する練習を授業に取り入れます。

③ 交流の仕方やグループ編成などを工夫し、同じ登場人物について、異なる人物像を想像した児童同士で交流する活動などを取り入れます。

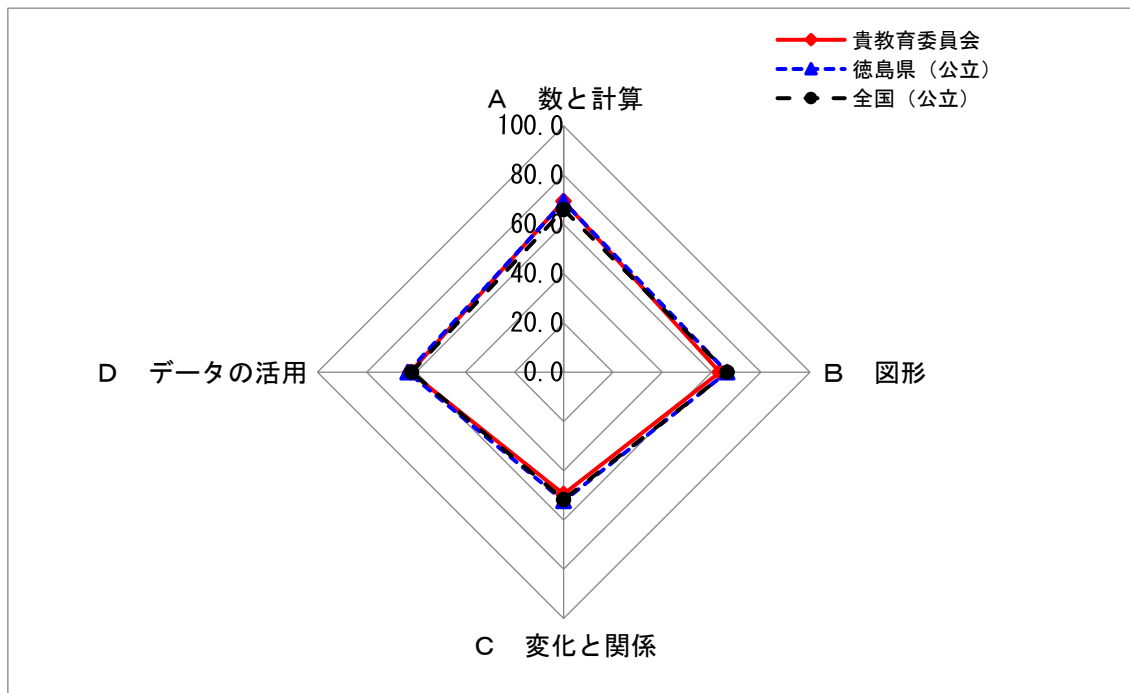
④ 読書活動の年間指導計画を立て、読書の位置づけや見通しをもたせた指導を行います。朝の活動や読書の記録等に取り入れるだけでなく、休業日前には文学的な文章の単元を学習し、子どもたちが休み中も本を読みたいという意欲を高めていきます。日常生活の中で主体的・継続的に読書を行うため、読書のイベントを企画したり、子どもたちが自分の読書の記録を振り返ったりなど、友だちとの交流を通して自分の読書の傾向や意味について考えさせる指導を行います。

## (2) 小学校 算数

〈正答数分布グラフ〉（横軸は正答数，縦軸は児童生徒の人数の割合）



〈学習指導要領の領域の平均正答率の状況〉



〈課題が見られた問題〉

小学校算数

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	平均正答率 (%)		
			小松島市	県	全国
③ (2)	円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ	直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかをみる	65.1	72.6	71.3
③ (3)	直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く。	球の直径の長さ立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる	32.1	33.8	36.5
④ (2)	3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を書く	速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかをみる	67.4	67.4	70.0
④ (3)	家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く。	道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる	28.4	32.7	31.0

**概要**

- 学習指導要領の領域「図形」「変化と関係」は、正答率が全国・県をわずかに3%弱下回り、課題が見られる。
- 記述式の問題は、今年度の正答率は全国・県と比較しほぼ同等、かつ無回答率は下がり、昨年度より改善の傾向が見られる。
- 評価の観点である「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国・県とほぼ同等の正答率を得ていた。

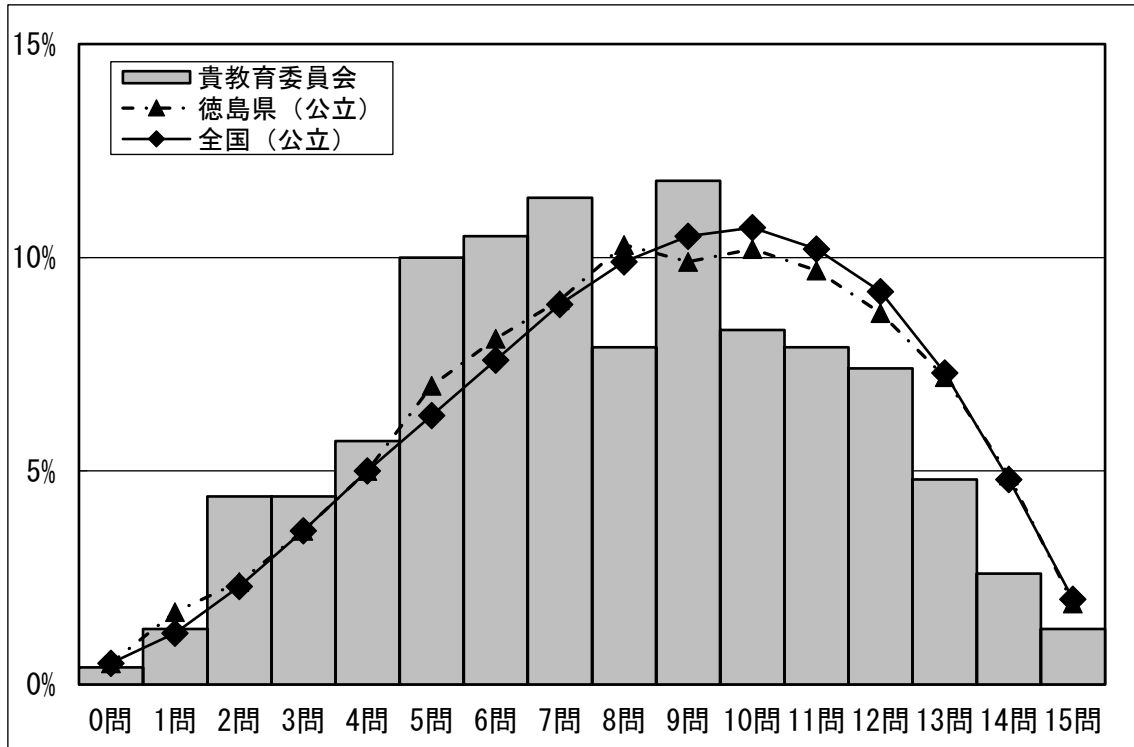
- ① ③(2)では、円周の長さが直径の2倍、あるいは4倍とであると誤って捉えている児童の割合が高かった。円周率の意味について理解し、それをを用いることに課題が見られる。
- ② ③(3)では、球の直径の長さで立方体の面の数から体積を求めることができると誤って捉えている児童がいると考えられる。

### 改善の方向性

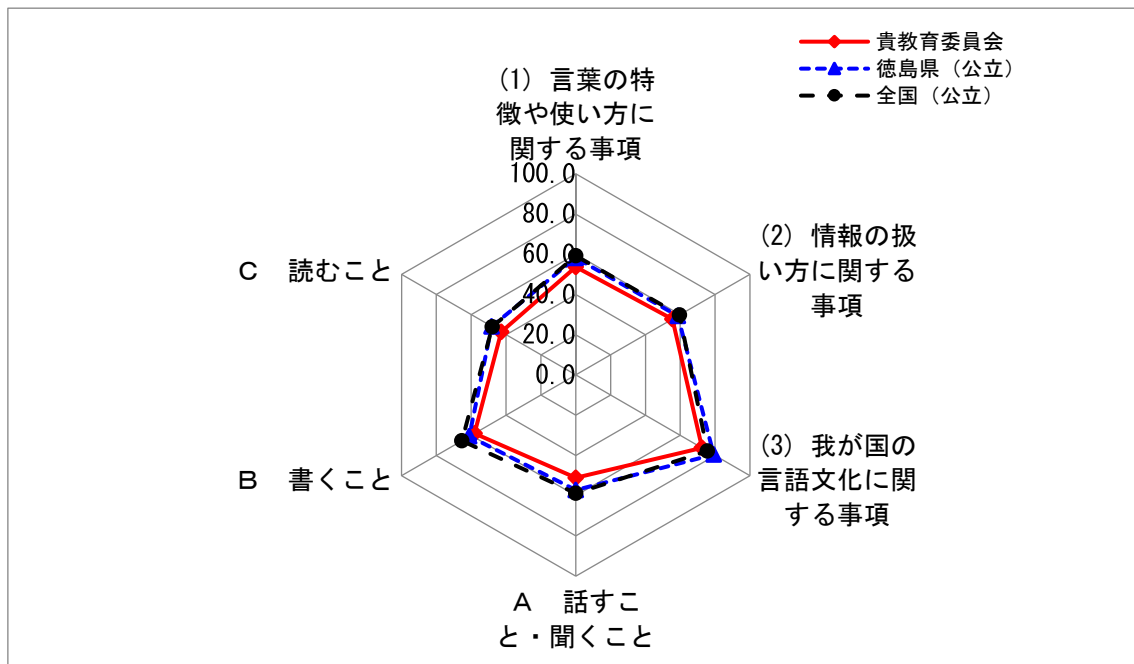
- ① 児童が見通しをもつことができるよう、実際に円の直径や円周の長さを測定したり、円柱を切り開いたりなどの具体的活動を取り入れ、立体図形と平面図形を関連付けて円周率についての理解を深めていきます。
- ② 底面の円の円周の長さが側面の長方形の横の長さと等しくなることに着目させるなどの具体的な活動を取り入れます。

### (3) 中学校 国語

〈正答数分布グラフ〉（横軸は正答数、縦軸は児童生徒の人数の割合）



〈学習指導要領の内容の平均正答率の状況〉



〈課題が見られた問題〉

中学校国語

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	平均正答率 (%)		
			小松島市	県	全国
1 一	話合いの中の発言について説明したのとして適切なものを選択する	必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる	53.3	62.4	63.2
1 二	話合いの中で発言する際に指し示している資料の部分として適切な部分を○で囲む	資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができるかどうかをみる	62.4	67.1	68.5
1 四	話合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く	話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる	37.6	42.0	44.7
2 二	本文中の情報と情報との関係を説明したのとして適切なものを選択する	具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる	67.7	73.2	75.2
2 三	本文中に示されている二つの例の役割をまとめた文の空欄に入る言葉として適切なものをそれぞれ選択する	文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることができるかどうかをみる	59.0	65.1	64.5
2 四	本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する	目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうかをみる	31.0	40.5	42.6
3 二	物語の下書きについて、文の中の語句の位置を直した意図を説明したものとして適切なもの	文の成分の順序や照応について理解しているかどうかをみる	45.9	50.3	53.8

	を選択する				
3 三	漢字を書く	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる	62.9	69.7	68.8
3 四	表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する	表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる	38.9	42.9	49.3

## 概要

●学習指導要領の内容では、「知識・技能」の（１）言葉の特徴や使い方に関する事項（２）情報の扱い方に関する事項，（３）我が国の言語文化に関する事項，「思考力，判断力，表現力等」の A 話すこと・聞くこと B 書くこと C 読むことの全ての項目において，正答率が全国・県ともに 3～10% 下回り，課題が見られません。

●評価の観点の「知識・技能」「思考・判断・表現」，どちらにも課題が見られます。

●「記述式」の問題に関しては極めて無回答率が高く，全ての問題で全国・県平均を下回りました。

① 問題 1 一では，適切な機会を捉えながら，話し手が伝えたいことを確かめたり，足りない情報を聞き出したりするなど，目的や状況に応じて質問することに課題があると見受けられます。

② 問題 1 二では，無回答率が全国・県の約 2 倍であった。また，図と資料の中の言葉とを関連付けて捉えることが苦手なことから誤回答を選択した生徒もいました。

③ 問題 1 四でも，無回答率が高く，「思考・判断・表現」に課題が見られます。

④ 問題 2 二では，文脈の中で，具体と抽象の関係について理解することに課題が

見られます。

- ⑤ 問題2三では、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることに課題が見られます。
- ⑥ 問題2四では、目的に応じて必要な情報に着目して要約することができる生徒の割合が少ないことが予想されます。
- ⑦ 問題3二では、修飾・被修飾の関係や、文の成分について十分に理解しておらず、主部・述部などを誤って捉えていることが考えられます。
- ⑧ 問題3三では、「満ち足りるという言葉になじみがないなど、文脈に即して「みちたりる」という言葉の意味を捉えることができなかつたり、「満足」という言葉と結び付けることができなかつたりしたことが考えられます。
- ⑨ 問題3四では、自分が読み手に伝えたいことを明確にし、そのねらいに応じた表現の工夫ができているかの確かめをすることに課題が見られます。

## 改善の方向性

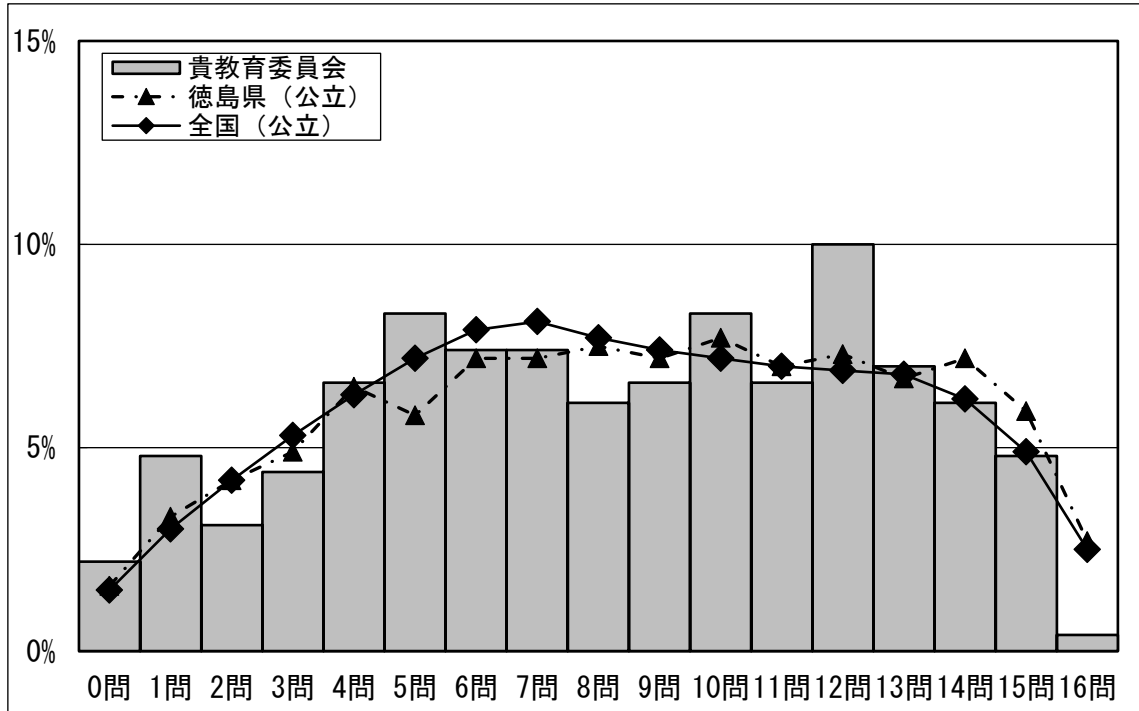
- ① ICT 機器を活用して話合いの場面を記録し、記録を用いて指導をするなどの効果的な方法を考えていきます。
- ② 話し言葉の特徴や、資料や機器を適切に用い、視覚に訴えることの効果などを踏まえて考えることができるように指導していきます。
- ③ 小学校での話し合い活動で学習したことを活かした上で、自分の発言と他者の発言とを結び付けたり、他者同士の発言を結び付けたりして自分の考えをまとめたり整理したりする活動を取り入れます。ワークシート等を活用し、自分の考えが話合いの話題や内容とどのように結び付いているのか、つながりが分かるようにまとめることができたか等を振り返る指導も取り入れていきます。
- ④ 具体的な例示の部分と、抽象的にまとめて述べられている部分とに着目して文

章の内容を捉えたり、読み取ったことをまとめる際に、文章のどの部分を用いるかを目的に照らして検討したりするなど、生徒の実態に応じて、具体と抽象の概念を理解する学習場面の展開を工夫します。

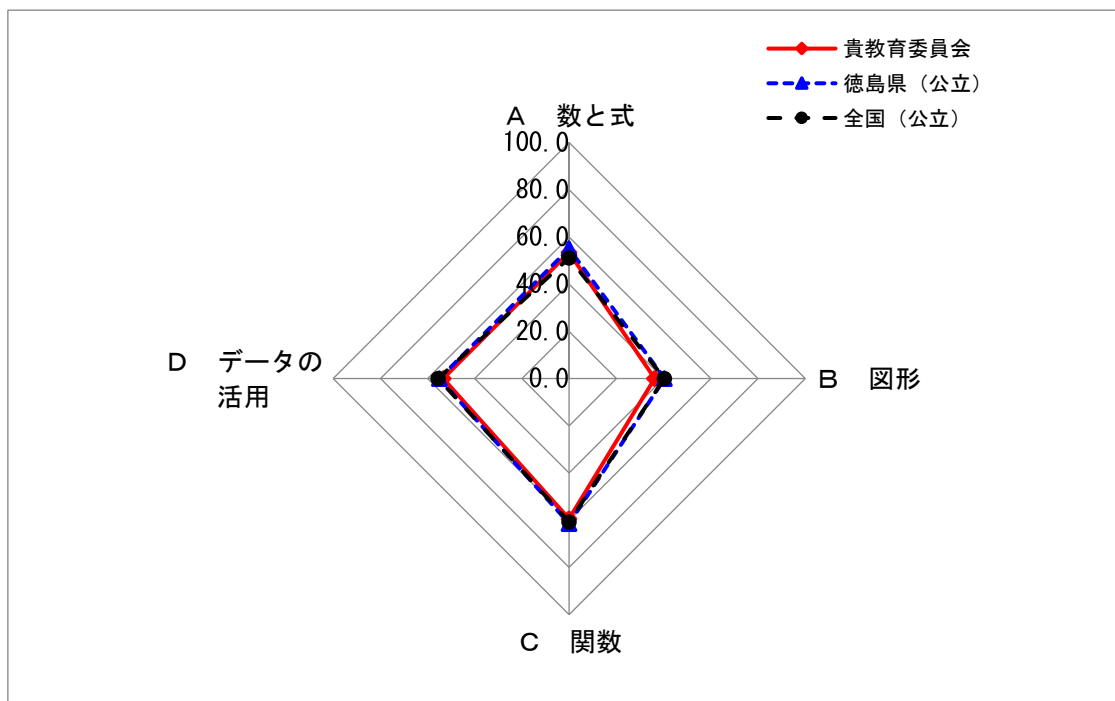
- ⑤ 文章中の具体例に着目させ、その具体例がどの主張を支えるために示されているかなどを確認し、文章の構成や展開と結び付けて説明ができるように指導します。
- ⑥ 目的を明確にしながら要約することと、その要約したものが目的に沿っているかどうかを考えさせます。また必要な情報を正確に捉えながら要約することの重要性を伝えていきます。例えば雑誌やインターネットニュースの記事などを教材として用いることで、実生活とのつながりを意識できるように指導していきます。
- ⑦ 主語と述語との関係、修飾語と被修飾語との関係の知識を活用することができるよう指導します。例えば読み手の立場に立って自分が書いた文章を分かりやすく整えていくなどの学習活動を考えていきます。
- ⑧ 1人1台端末を活用し、漢字のもつ意味に着目させたり、他教科の学習中や日常の会話の中でも漢字の書きについて意識させたりするように指導していきます。
- ⑨ 物語を創作する学習では、下書きした文書などを読み合い、自分の伝えたいことが伝わるような描写になっているのかなどを説明したり確かめたりする学習活動を取り入れていきます。

#### (4) 中学校 数学

〈正答数分布グラフ〉(横軸は正答数, 縦軸は児童生徒の人数の割合)



〈学習指導要領の内容の平均正答率の状況〉



〈課題が見られた問題〉

中学校数学

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	平均正答率 (%)		
			小松島市	県	全国
6 (1)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に3, -5を入れるとき、その和である□に入る整数を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができるかどうかをみる	85.6	88.5	90.2
6 (3)	正四面体の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に入れた整数の和と□に入る整数の和について予想できることを説明する	統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	38.9	42.6	41.8
7 (2)	車型ロボットについて「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	17.5	25.6	25.9
8 (1)	ストーブの使用時間と灯油の残量の関係を表すグラフとy軸との交点Pのy座標の値が表すものを選ぶ	二つのグラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈することができるかどうかをみる	80.3	82.2	83.4
9 (1)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、AQ	筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる	21.8	26.9	25.8

	=PBであることを，三 角形の合同を基にして 証明する				
9 (2)	点 C を線分 AB 上にと り，線分 AB について同 じ側に正三角形 PAC と QBC をつくる時， $\angle$ AQC と $\angle$ BPC の大き さについていえること の説明として正しいも のを選ぶ	目的に応じて必要な情報 に着目して要約すること ができるかどうかをみる	19.2	24.7	26.7

## 概要

●学習指導要領の領域「図形」「関数」「データの活用」では，正答率が全国・県を 1～4%わずかに下回り，「数と式」では全国よりわずかに高く，県よりわずかに低かった。

●評価の観点の「思考・判断・表現」に課題が見られます。

●「思考・判断・表現」の問題はすべて問題形式が「記述式」となっており，「記述式」問題の無回答率が高くなっています。

① 問題 6 (1) では，具体的な数を用いて考察の対象を明確に捉えることができ  
ていないと考えられます。

② 問題 6 (3) では無回答率も高く，数学的な表現ができるように指導する必要  
があります。

③ 問題 7 (2) では，複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え，判断の  
理由を数学的な表現を用いて説明することに課題があると考えられます。

④ 問題 8 (1) では，グラフと座標軸との交点について，事象に即して解釈をす

ることができていないと考えられます。

- ⑤ 問題9（1）では、筋道を立てて考え証明することに、引き続き課題があると考えられます。
- ⑥ 問題9（2）では、条件を保ったまま動かした図形を観察し、辺や角について変わらない性質を見いだすことについて、不得意な傾向がうかがえます。

## 改善の方向性

- ① 授業の中で、具体的な整数を正三角形の三つの○に一つずつ入れ、三つ□に入る整数をそれぞれ求める場面を設定します。
- ② 見いだした事柄を「□に入る整数の和は、○に入れた整数の和の3倍になる」のように「●●は、◆◆になる。」という形で表現できるように指導します。
- ③ 判断の理由を、具体物や四分位数などを根拠として説明できるように指導します。
- ④ グラフの軸や交点がそれぞれ何を表しているか読み取ることができるように指導します。
- ⑤ 授業の中で、対応する辺や角の大きさについて分かることを整理したり、合同を示すために必要な関係を見いだしたりする場面を設定します。
- ⑥ 正三角形から二等辺三角形や正方形など他の図形に変えた場合はどうなるかを考えるなど、統合的・発展的に考察できるような学習活動を考えます。

## 6 児童生徒質問紙による調査結果

(1) 肯定的な回答(「1. 当てはまる」等)の割合が、全国を3%以上上回っている項目より

### 小学校

番号	質問項目【】 カテゴリーは、「R6 年度全国学力・学習状況調査報告書」(文部科学省国立教育政策研究所) 参考	小松島市 (%)	国 (%)	市-国 (%)
1	朝食を毎日食べていますか	86.5	83.4	3.1
7	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	43.5	39.4	4.1
8	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか	39.0	34.5	4.5
16	学校に行くのは楽しいと思いますか	52.0	47.2	4.8
18	友達関係に満足していますか	65.9	62.4	3.5
28-7	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(7) 友達と協力しながら学習を進めることができる	49.3	46.2	3.1
36	先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	52.5	47.3	5.2

### 中学校

番号	質問項目【】 カテゴリーは、「R6 年度全国学力・学習状況調査報告書」(文部科学省国立教育政策研究所) 参考	小松島市 (%)	国 (%)	市-国 (%)
2	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	59.0	55.3	3.7
7	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	38.0	34.0	4.0

	すか			
1 1	将来の夢や目標を持っていますか	41.0	36.1	4.9
1 6	学校に行くのは楽しいと思いますか	52.8	43.5	9.3
1 7	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	34.1	30.3	3.8
1 8	友達関係に満足していますか	60.7	55.0	5.7
2 3	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌，新聞，教科書は除く）	25.8	18.0	7.8
4 2	国語の勉強は好きですか	27.9	24.4	3.5
4 4	国語の授業の内容はよく分かりますか	37.1	32.0	5.1
4 5	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	55.9	52.3	3.6
5 0	数学の勉強は好きですか	37.6	29.4	8.2
5 2	数学の授業の内容はよく分かりますか	44.1	35.1	9.0
（数 2）	解答時間は十分でしたか（数学）	46.7	41.0	5.7

## （２）回答率が全国を下回り，課題と考えられる項目より

### 小学校

番号	質問項目【】 カテゴリーは、「R6 年度全国学力・学習状況調査報告書」（文部科学省国立教育政策研究所）参考	小松島市 （%）	国 （%）	市－国 （%）
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	31.4	39.7	－8.3
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	52.9	56.1	－3.2
1 4	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	25.1	30.2	－5.1
1 7	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	26.9	30.3	－3.4
2 8 －1	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。（1）自分のペースで理解しながら学習を進めることができる	23.3	33.8	－10.5

2 8 - 2	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(2) 分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	52.5	58.4	-5.9
2 8 - 5	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(5) 自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	22.0	33.3	-11.3
2 8 - 6	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(6) 友達との考えを共有したり比べたりしやすくなる	33.6	44.6	-11.0
2 9	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(7) 友達と協力しながら学習を進めることができる	22.0	25.9	-3.9
3 0	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	26.5	29.5	-3.0
3 1	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	22.0	29.7	-7.7
3 4	学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	23.3	31.9	-8.6
3 5	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思いますか	24.7	35.9	-11.2
3 8	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	28.3	36.5	-8.2
3 9	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かし	24.2	36.3	-12.1

	て解決方法を決めていますか			
4 0	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	28.7	34.9	-6.2
4 1	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	39.5	47.3	-7.8
4 5	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	57.0	61.8	-4.8
4 6	国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理していますか	23.3	27.5	-4.2
4 9	国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか	36.3	42.9	-6.6
5 0	算数の勉強は好きですか	28.7	34.0	-5.3
5 2	算数の授業の内容はよく分かりますか	34.1	44.9	-10.8
5 3	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	64.6	71.7	-7.1
5 4	算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	32.7	42.3	-9.6
5 5	算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	40.8	47.0	-6.2
5 6	算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか	21.1	31.1	-10.0
5 7	算数の授業で学習したことを、今の学習で活用しようとしていますか	37.2	48.1	-10.9
5 8	理科の勉強は好きですか	42.6	53.1	-10.5
5 9	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがありますか	38.6	49.2	-10.6
6 0	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験	43.0	49.6	-6.6

	の計画を立てていますか			
6 2	英語の勉強は大切だと思いますか	64.6	71.2	-6.6
6 3	英語の授業の内容はよく分かりますか	39.5	43.6	-4.1

中学校

番号	質問項目【】 カテゴリーは、「R6 年度全国学力・学習状況調査報告書」(文部科学省国立教育政策研究所) 参考	小松島市 (%)	国 (%)	市-国 (%)
9	自分には、よいところがあると思いますか	36.2	40.4	-4.2
1 0	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	40.6	44.2	-3.6
1 2	人が困っているときは、進んで助けていますか	31.4	38.3	-6.9
1 4	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	22.3	28.7	-6.4
2 1	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	6.1	9.2	-3.1
2 7	1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか	11.4	31.0	-19.6
2 8 - 1	1, 2年生の時の学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(1) 自分のペースで理解しながら学習を進めることができる	22.0	33.3	-11.3
2 8 - 2	1, 2年生の時の学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(2) 分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	39.7	62.8	-23.1
2 8 - 3	1, 2年生の時の学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことは	34.1	39.1	-5.0

	あなたにどれくらい当てはまりますか。(3) 楽しみながら学習を進めることができる			
28 -4	1, 2年生の時の学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて, 次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(4) 画像や動画, 音声等を活用することで, 学習内容がよく分かる	29.7	42.9	-13.2
28 -5	1, 2年生の時の学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて, 次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(5) 自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	22.0	29.7	-7.7
28 -6	1, 2年生の時の学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて, 次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(6) 友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	24.9	41.0	-16.1
28 -7	1, 2年生の時の学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて, 次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(7) 友達と協力しながら学習を進めることができる	24.7	35.9	-11.2
30	1, 2年生のときに受けた授業では, 課題の解決に向けて, 自分で考え, 自分から取り組んでいましたか	18.8	27.2	-8.4
31	1, 2年生のときに受けた授業では, 各教科などで学んだことを生かしながら, 自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	17.5	24.7	-7.2
32	1, 2年生のときに受けた授業は, 自分にあった教え方, 教材, 学習時間などになっていましたか	21.4	24.9	-3.5
33	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて, 自分の考えを深めたり, 新たな考え方に気付いたりすることができていますか	33.2	36.4	-3.2
34	学習した内容について, 分かった点や, よく分からなかった点を見直し, 次の学習につなげること	18.8	27.1	-8.3

	ができていますか			
36	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	28.8	35.5	-6.7
37	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	38.9	46.1	-7.2
38	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	21.8	33.7	-11.9
39	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	24.9	35.5	-10.6
40	学級活動おける学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	26.2	30.2	-4.0
41	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	43.2	49.8	-6.6
46	国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報との関係を捉えて理解していますか	22.7	26.2	-3.5
47	国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめていますか。	19.2	28.8	-9.6
48	国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いていますか	21.4	28.3	-6.9
49	国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈していますか	27.1	30.1	-3.0
53	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	36.2	40.0	-3.8

59	自然の中や日常生活，理科の授業において，理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがありますか	28.4	32.5	-4.1
60	理科の授業では，自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	21.4	27.4	-6.0
61	1，2年生のときに受けた授業では，英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	31.4	37.1	-5.7
62	1，2年生のときに受けた授業では，英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	27.9	38.8	-10.9
63	1，2年生のときに受けた授業では，原稿などの準備をすることなく（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	23.6	28.1	-4.5
65	1，2年生のときに受けた授業では，自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	41.9	44.9	-3.0

## 7 クロス集計の結果より

クロス集計で選択肢ごとの平均正答率を比較していますが、調査数が多くないため、ごく少数の回答結果の影響を受けることもあります。このことをふまえた上で、傾向と改善の方向性を★に示しました。

※網掛け部分は、各教科の平均正答率が最も高いことを表しています。

### 小学校

(6)	普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか	児童数 (人)	児童数の 割合(%)	平均正答率(%)	
				国語(14問)	算数(16問)
1	4時間以上	28	12.8	66.3	63.4
2	3時間以上、4時間より少ない	21	9.6	63.3	55.1
3	2時間以上、3時間より少ない	25	11.5	70.9	65.5
4	1時間以上、2時間より少ない	53	24.3	63.3	63.8
5	30分以上、1時間より少ない	27	12.4	68.0	56.0
6	30分より少ない	26	11.9	75.8	76.0
7	携帯電話やスマートフォンを持っていない	38	17.4	69.0	63.6

★普段（月曜日から金曜日）、1日当たり携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴をする時間が短い児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向が見られます。機器を使用するに当たり、適切な時間やマナーを身に付けることの大切さを伝え、家庭とも連携を図っていきます。

(29)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表
------	--

		していましたか			
選択肢		児童数 (人)	児童数の 割合(%)	平均正答率 (%)	
				国語 (14問)	算数 (16問)
1	発表していた	47	21.6	73.7	68.1
2	どちらかといえば、発表 していた	96	44.0	68.0	65.4
3	どちらかといえば、発表 していなかった	49	22.5	67.2	63.3
4	発表していなかった	22	10.1	55.8	50.0
5	考えを発表する機会はな かった	4	1.8	57.1	45.3

★考えを伝えるために、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した児童は、正答率が高くなっています。資料や文章と関連付け、自分の考えを工夫して伝える場面を授業に取り入れていきます。

(31)		5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしなが ら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか			
選択肢		児童数 (人)	児童数の 割合(%)	平均正答率 (%)	
				国語 (14問)	算数 (16問)
1	当てはまる	49	22.5	69.8	66.2
2	どちらかといえば、当て はまる	116	53.2	68.6	65.9
3	どちらかといえば、当て はまらない	44	20.2	67.7	59.2
4	当てはまらない	9	4.1	42.9	40.3

★学んだことを他教科へ生かし、自分の考えをまとめる活動は、学力にも関係していると考えられます。授業において、カリキュラムマネジメントを意識し、考えをまとめる時間を確保していきます。

(36)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか				
選択肢		児童数 (人)	児童数の 割合(%)	平均正答率 (%)	
				国語 (14問)	算数 (16問)
1	当てはまる	116	53.2	67.9	65.1
2	どちらかといえば、当てはまる	83	38.1	67.4	61.9
3	どちらかといえば、当てはまらない	14	6.4	66.8	60.7
4	当てはまらない	5	2.3	67.1	62.5

★日々の学校でのきめ細やかな指導や、1人1人の習熟度を把握した上で授業の計画を立てることが、子どもたちの理解度と学ぶ喜びに繋がることが分かります。丁寧に子どもたちに関わり、よりよい関係性を築いていきます。

(54)	算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか				
選択肢		児童数 (人)	児童数の 割合(%)	平均正答率 (%)	
				国語 (14問)	算数 (16問)
1	当てはまる	71	32.6	70.9	71.6
2	どちらかといえば、当てはまる	80	36.7	66.4	62.2
3	どちらかといえば、当てはまらない	41	18.8	64.6	55.9
4	当てはまらない	26	11.9	67.0	57.9

★算数の学習で得た知識を実生活に役立てようと考えている児童の割合が高いことが分かります。児童の身近な問題に結び付けて、算数で得た知識が活用できることの児童の喜びを大切に、学ぶ意欲に繋げていきます。

中学校

(1)	朝食を毎日食べていますか	生徒数 (人)	生徒数の 割合(%)	平均正答率 (%)	
				国語 (14問)	算数 (16問)
1	している	178	79.8	54.3	54.9
2	どちらかといえば、している	28	12.6	47.1	46.2
3	あまりしていない	11	4.9	42.4	35.2
4	全くしていない	6	2.7	41.1	22.9

★朝食を毎日食べている生徒の正答率が高くなっています。基本的な生活習慣を確立させることの大切さを繰り返し伝え、家庭とも連携し、取り組んでいきます。

(7)	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	生徒数 (人)	生徒数の 割合(%)	平均正答率 (%)	
				国語 (14問)	算数 (16問)
1	きちんと守っている	84	37.7	56.8	56.8
2	だいたい守っている	79	36.4	53.2	52.7
3	あまり守っていない	13	5.8	49.2	38.5
4	守っていない	3	1.3	33.3	43.8
5	携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない	33	14.8	44.8	48.9
6	携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持つ	11	4.9	46.1	38.1

	ていない				
--	------	--	--	--	--

★保護者との約束のもと、通信機器を使用できている生徒の正答率が高くなっています。使用時間や情報モラルを守ることについて、家庭でコミュニケーションを図ることの大切さを促していきます。

(9)	自分には、よいところがあると思いますか				
	選択肢	生徒数 (人)	生徒数の 割合(%)	平均正答率 (%)	
				国語 (14問)	算数 (16問)
1	当てはまる	80	35.9	55.5	59.8
2	どちらかといえば、当てはまる	95	42.6	51.7	50.8
3	どちらかといえば、当てはまらない	31	13.9	50.3	45.0
4	当てはまらない	17	7.6	46.7	34.9

★自己肯定感が高い生徒ほど、学習の正答率も高くなっています。道徳教育、人権教育を推進し、自尊感情を高めるための心の教育の充実に、引き続き取り組んでいきます。

(20)	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。				
	選択肢	生徒数 (人)	生徒数の 割合(%)	平均正答率 (%)	
				国語 (14問)	算数 (16問)
1	できている	55	24.7	53.3	54.8
2	どちらかといえば、できている	112	50.2	53.0	52.7
3	どちらかといえば、できていない	46	20.6	51.6	49.3
4	できていない	8	3.6	47.5	42.2

★主体的に学習に取り組む態度が、学力にも関係することが考えられます。授業において自分で考え、自分で考える機会を取り入れるとともに、既習の知識を基に問題の解決に取り組む姿勢を育てていきます。

選択肢	生徒数 (人)	生徒数の 割合(%)	平均正答率 (%)	
			国語 (14問)	算数 (16問)
1	93	40.6	60.6	68.3
2	111	48.5	48.0	43.1
3	15	6.6	37.8	22.9

★解答を言葉や数、式を使って説明することは、数学科だけでなく他教科の学力にもつながることを表している結果です。生徒のつまずきを見取り、説明の仕方や説明を書いたり伝えたりする時間の確保等、指導の工夫を図ることが大切であると考えられます。

## 8 今後の取組方針

学校と市教育委員会では次のことを積極的に推進します。

○本調査の結果と分析から、「学力」を多方面に捉え直すとともに、「学力向上において目指す本市の児童生徒の姿」を明確にし、その具現化を図ります。

○今年度、重点的に取り組むこととして、各校で作成している「学力向上プラン」に記載するとともに、児童生徒の実態に即した具体策方法を立て、組織的・継続的に取り組みます。

○本調査の調査結果を各校において分析する中で、児童生徒のつまづきがどこにあるのかを把握します。各校で、課題を各教科等の年間指導計画にも反映させ、系統性を持たせて取り組んでいけるよう、カリキュラムマネジメントを推進します。

○児童生徒の学力向上につながる学習支援・生活支援の具体的な方法について、学力向上推進委員会で検討し、市全体で取り組んでいきます。

○中学校の PC・タブレットなどの ICT 機器使用率が大幅に全国平均を下回っている。昨年度からの AI ドリル等の導入により、活用の機会を増やしたり、中学生向けのデジタル教材の充実を更に図ったりするなど、引き続き ICT 教育の推進のための環境整備に努めていきます。

○社会に開かれた教育課程の実現のために、外部人材活用事業の効果的活用を努めます。

○コミュニティスクール（学校運営協議会）や地域学校協働活動の効果的な活用を図ります。

○各校で調査結果分析を行い、改善策の検討をし、授業改善に取り組みます。  
（積極的な ICT の活用や話し合い活動の充実）

○言語活動の充実を図るため、読書環境を整え、読書週間の定着を図ります。

○個人面談や各種便り等を通して、家庭との連携を深め、基本的な生活習慣や家庭学習の充実に取り組みます。

○市学力推進担当者研修会を開催し、市全体で学力向上に取り組みます。

**家庭や地域では次のような取り組みの推進をお願いします。**

○「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣の定着を図りましょう。

○スマートフォンやゲームの使用時間、SNS 使用の際のルールなど、各家庭でお子

さんと話し合いをし、望ましい学習習慣や情報モラルについて相互の理解を深めましょう。

○家庭での会話を大切にしましょう。学校での出来事や友だちのこと、お子さんの興味関心、悩み等、お子さんの学校や家庭での生活状況の把握に努めましょう。